

人間の安全保障無償資金協力：「イタプイ養護学校施設改修・機材購入計画」 供与式



(左から) 新食堂にてヴィアロ会長、  
西林総領事、プラド校長



保健室で活用される医薬品戸棚

2005年11月25日、イタプイ APAE（障害者を支える親と友の会）において「イタプイ養護学校施設改修・機材購入計画」の供与式が開催され、西林万寿夫総領事、同協会ヴィアロ会長、イタプイ市サジオリ市長、団体協力者及び関係者等、約80名参加しました。

ヴィアロ会長は福祉団体を経営するに当たって問題点は多いが、資金が不足するのが最も困難であることを説明しました。その中で日本にイタプイ APAE の必要性を理解して貰い、障害者により良い教育環境を与えることができたことで「素晴らしい日本に感謝する」と挨拶しました。

又、マイア元会長は、「この協力のお陰で新たな目的が達成された。この嬉しさが日本国民に伝わることを強く希望する」と述べました。

これらに対して、西林総領事は「この度、我が国草の根無償資金協力により、教室・食堂等の建物を改修し、車つき担架、冷凍庫、テーブル、椅子などの機材を購入し、教育環境が改善されることを期待しています」と挨拶されました。

式典後には、新しい食堂で記念プレート除幕式と昼食会が行われ、その後には施設見学がありました。

○ 上記案件のプロフィール

案件名：

「イタプイ養護学校施設改修・  
機材購入計画」

被供与団体：

イタプイ APAE  
(障害者を支える親と友の協  
会)

契約署名日：2005年6月7日

供与限度額：27,752米ドル



保健室で活用される担架、歩行器  
等

案件概要：

4歳から52歳までの障害者94名が通園している同団体の施設は、老朽化のため、雨漏りや天井のたわみなどが発生していました。本件協力は、教室・食堂などの建物改修と、車付き担架、冷凍庫、テーブル、椅子などの機材購入費用として、27,752ドルの費用を、我が国が無償で資金供与したものです。